

活動計画

活動計画の立て方

- いつ？
→ 学級会の1週間前から
- 誰が？
→ 計画委員と提案者、担任
※担任はコピーしてファイリング
- どのように
→ 計画委員と話し合いながら決める。
※低学年は、話し合いながら担任が書いてもよい。

議題の選定

- 提案箱の中に入っている意見の中から、より今の時期にふさわしいものを選ぶ。
※なかなか意見が出ないときには…
→ 教師のアイデアや他の学年がやっている議題を参考にする。

めあての立て方

内容面

- 「提案理由に沿った発言しよう。」
「喜んでもらえるような（仲良くなるような）工夫を決めよう。」
※年間を通してレベルアップしていく。

技能面

- 「理由をつけて発言しよう」（入門期）
「友達の見解につなげて発言しよう。」
「時間の見通しをもって進めよう。」
- × 「一人〇回手をあげよう。」
「全員発言しよう。」
※技能面を書くときは、内容面と抱き合わせる。

提案理由の書き方

- ①現状
- ②問題点
- ③この活動による効果の3段階にする。
※一番重要なところには、アンダーラインを引く。

第4回 学級会 活動計画		6月12日(月) 時間目
議題	〇〇ちゃんに仲よくなるの会をしよう	
役割	司会() 司会() 黒板記録() () ノート記録() 提案者()	
提案理由	5/1にかいのき学級に〇〇ちゃんが転入してきました。でも、まだ〇〇ちゃんのことをよく知りません。そこで、〇〇ちゃんのことをもっとよく知り、仲よくなりたいと思っ提案しました。	
めあて	提案理由に沿って意見を言おう。	
決まっていること	6/27(水)5時間目に外で行う。(雨なら28日に延期) 何をするかでは2つ決める。仲よくなる工夫はいくつでもよい	
話し合いの順序(時間)	気をつけること	しゅり
1 始めの言葉	・大きな声ではっきりと言う。	
2 計画委員の紹介	・1人ずつ、役わりと名前、めあてを言うようにしておく。	
3 議題の確認		
4 提案理由やめあての確認	・事前にヒッたアンケートをまとめたものをパソコンで提示しながら説明する。	・パソコン
5 決まっていることの確認	・決まっていることの確認の後、先生の話を入れる。	
6 話し合い		
① 何をするか(15分間)	・黒板に短ざくをはって置き、「くらべ合」から話し合う。 ・「何をするか」では2つ決める。	
② 〇〇ちゃんに仲よくなる工夫(10分間)	・提案理由にそった内容ほどれかを考えてもらう。 ・意見を言ってもらったら、「ありがとうございました」と言う。	
③ 役割分担(5分間)	・時間が来たらまじめに入れるように声をかけ合う。	・役割分担用ホワイトボード
7 決まったことの確認	・時間がなくなったら、役割分担は後で行うことを伝える。	・学級会ノート
8 振り返り		
9 先生の話	・時間があたら2、3人の人に振り返りを発表してもらう。	
10 終わりの言葉		
計画委員会のふりかえり ◎よくできた ○できた △もう少し		
1	進んで話し合いの準備ができましたか。	◎ ○ △
2	みんなで協力して進めることができましたか。	◎ ○ △
3	自分の仕事がしっかりできましたか。	◎ ○ △

決まっていること

- ・なるべくくわしく決まっていることを簡条書き
(いつ・どこで・何時間分で・いくつ決めるのか・学校で用意するもの)
⇒ 決まっていることが明確化されていると、話し合いが焦点化される。
※クラスの実態に応じて、決まっていること増やしていく。

役割分担

- ・ クラス全員が何かしらの役割に入る。
- ・ 白板を使って動かせるようにする。

話し合うこと①

- ・ 計画委員と一緒に計画段階で5つ程度に絞るとよい。